



加茂小学校校報第〔3〕号

嬭 村尾 隆晃

# 加茂っ子



か も だ い す き

も り も り げ ん き

の び の び や さ し い

こ つ こ つ ま な ぶ

令和4年4月13日

## 入学式

## 入学おめでとう

### 校長お祝いの言葉（抜粋）

～前略～

さて、今日からみなさんは加茂小学校の1年生です。

学校は、勉強をするところです。これまでわからなかったことがわかるようになり、賢い子になるところです。そして、運動をするところです。走ったり、ボール遊びをしたりして強くたくましい子になるところです。また、お友だちと仲良く遊び、思いやりのある子になるところです。

この加茂小学校のお兄さん・お姉さんはとても心の優しい人ばかりで、みんな仲良しで、嫌がらせをするような人は一人もいません。お兄さんやお姉さんたちとも早く仲良しになって、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

みなさんの前には、2年生と6年生のお兄さんやお姉さんがいますね。合わせて101名のお兄さん、お姉さんです。今日はこの会場にはいませんが、3年生から5年生まで、皆さんには253名のお兄さんお姉さんがいます。みなさんが入学してくることをとっても楽しみに首を長くして待っていたのですよ。

今日の入学式のために、一生懸命心を込めて準備もしてくれました。

こちらを見てください。1組のみなさんの担任は山根さつき先生です。2組のみなさんの担任は柴田泰子先生です。にこにこ学級のみなさんの担任は藤原恵美子先生です。三人とも優しく、明るくて温かい先生ですよ。

みなさんが毎日楽しく学校に来ることができるよう、勉強はもちろん、安全な学校への行き方や学校からの帰り方、掃除の仕方や給食の準備の仕方、食べ方、そして誰もが得意なことや苦手なことがあること。だから助け合って毎日の生活を送っていくことが大切だということなどたくさんのお話を分かります。だから助け合って毎日の生活を送っていきましょう。分からないことがあったら何でも聞いてください。

他にもたくさんのお話を先生方がいらしゃいます。どの先生もみなさんの入学を「まだか、まだか」と待っていました。先生方はみんな、とても優しく、何でも丁寧に教えてくださいますから、とっても安心ですよ。

今日は、みなさんが、加茂小学校で毎日仲良く、楽しくすごしていくためにがんばってほしいことを三つお話しします。

一つ目は、「元気にあいさつできる子」になることです。あいさつには「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」などいろいろあります。心から言って、あいさつで気持ちを届けることができるようになってほしいと思います。

二つ目は、話している人の方におへそを向けて「お話をよく聴く子」になることです。みんな



力を合わせて生活していく小学校では、お話をよく聴いていないと困ったことになってしまうことがあります。先生や友だちのお話をよく聞いて、分からないことがあったら、自分から何でも聞けるようになってほしいと思います。

最後の三つ目は、「自分の命は自分で守れる子」になることです。まだみなさんには難しいことかもしれませんがね。交通事故にあわないように飛び出しをしない。知らない人に声を掛けられてもついていかない。まずは、この二つのことに気をつけてください。

お話がrippに聞きました。すばらしい1年生ばかりだということがよくわかりました。

(これから、みなさんのお父さんやお母さんにお話をしますから、少し体を楽にして静かに待っていてくださいね。)

保護者の皆様、お子様の小学校ご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

～中略～

今お子さんは、子ども園から借りてきた小さな小さな椅子にちょこんと腰掛けていらっしやいます。それが六年後には、大人用のパイプ椅子に堂々と座って卒業を迎えることとなります。小学校の6年間は目に見える身体の成長だけでも本当に大きいものがあります。ましてや目に見えない頭脳や心の成長となると目には見えませんがそれを遥かに上回ると言っても過言ではないと思います。小学校6年間に登下校だけで、歩いた距離は長い子で、5,000kmにもなります。これは北海道から、沖縄までを往復できるほどの長い道のりです。6年間という年月の積み重ねはそれほど大きく、尊いものです。私ども教職員と保護者の皆様、そして地域の方々が、共に手を携え、心一つに、お子様の成長のため全力を尽くし、見守り、支援していきたいと考えております。～後略～



## 「あいさつ」は魔法の言葉！ 「わくわく ドキドキ 心地よく」新学期

が始まり2日目の4月11日(月)中庭で子どもたちの登校を出迎えていると、加茂小の子どもたちのあいさつの素晴らしさを感じます。それほど大きな声ではないものの、会釈をして頭を下げて相手意識を持って挨拶ができる子がとても多いことに感心しました。あいさつは心をつなぐ魔法の言葉だと思います。うつむいて元気のないあいさつが返ってくると、「今日はどうしたのだろうか？身体の具合がよくないのかなあ？」とか「昨日学校でいやなことがあったのかなあ？」などと心配になります。高学年昇降口には「元気と気持ちの良いあいさつ日本一の加茂小学校」を目指して、右のような掲示をしました。

